

地域の医療をサポートする情報誌

caress press

カレスプレス - 愛と信頼の輪 -

2018
秋号
No.31

CONTENTS

- 特集1** 時計台記念病院 副院長就任のご挨拶
- 特集2** 平成29年度 決算報告会
- 特集3** 第85回 法人全体研修会を開催
「もっと知りたい(!?) 看護部という集団 質の向上編」

MEDICAL ONLINE

短期入所サービスの紹介 - 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

NURSE*NURSE

NEWS・EVENT - 介護老人保健施設けあ・ばんけい ホームページリニューアル 他

TOPICS

リハビリテーション部 新入職員を対象に KYT 研修会を実施
心臓血管外科主催 ウェットラボを実施しました 他

TOKEIDAI MEMORIAL HOSPITAL

特集1

時計台記念病院 副院長就任のご挨拶



時計台記念病院
副院長 藤井 美穂



—— 築いてきた強みを、さらに確かなものに

私は 2007 年 4 月、時計台記念病院に入職し、今年で勤続 12 年目となりました。当院については、札幌医科大学附属病院に勤務していた時代に何回か訪れたことがあり、「札幌の中心街の白い建物」という印象を持っていましたが、まさかここで働くことになるとは思ってもみませんでした。

12 年前、現在の大城理事長に声をかけていただき、時計台記念病院として初めての診療科である産婦人科を立ち上げました。名称を「女性総合診療センター」とし、女性のライフサイクルにおける疾患すべてに対応する方針をこのセンターに反映させました。大学を卒業後、医師として 25 年の中で得た臨床経験や人とのつながりを元に、北海道ではまだ導入していなかった新しい手術、大学病院時代からのライフワークや高度生殖医療などの実績を少しずつ積み上げてきた 12 年でした。この間、母校の産婦人科の教授をはじめ、教室の後輩医師からの継続的な支援があったことは大変心強いものでした。

開院当初から全国、そして海外に向け発信する活動をしてきた他のセンターの取り組みも参考になりました。女性総合診療センターでも自分たちの手術、手技をはじめ新しい取り組みを全国的に公開するために、手術ライブやカダバーを用いるセミナーを開設。全国のエキスパートが集まる事業を立ち上げました。これらの事業を推進するために院内スタッフの力を集結し、各部門間で診療連携がとれる組織づくりを進めることもできました。

当法人の強みは、目標に向けた団結力と情報の共有と考えています。事務局をはじめ看護部などすべての部門においてスタッフ教育が徹底されており、院内における情報は各自が責任を持って正確にやり取りし、文章化されています。

このほど、ご指名をいただいた副院長を引き受けるに当たり、これまで築いてきた強みを確かなものにするとともに、女性の良さでもある「まず行動し、現実的な取り組みから始める」という視点で提案していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

時計台記念病院

■診療科目■ 内科・循環器内科・消化器内科・外科・脳神経外科・形成外科・婦人科・眼科
リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・泌尿器科

■診療時間■ 月曜～金曜日 午前 9:00～12:30 / 午後 13:30～17:00
土曜日 午前 9:00～12:30

〒060-0031 札幌市中央区北 1 条東 1 丁目 2 番 3 号

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433 URL <http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

特集2

平成 29 年度 決算報告会 テーマ「決算から見えてくる未来～成長のための構造改革と基盤整備～」

会場：ロイトン札幌

7月25日、カレス サッポロ法人全職員、取引先などに業績を公開する決算報告会をロイトン札幌で開催しました。

7月25日、ホテルロイトン札幌にて平成29年度の決算報告会を開催しました。

今年で6回目となる決算報告会は、理事長に就任して以降「病院の経済状態を全職員に知らせるべきだろう」という思いから始まりました。決算報告会には職員はもちろん、主要取引先や金融関係者なども招いています。

決算は一般企業では当たり前のことですが、病院ではあまり馴染みのないものかもしれません。医療職の皆さんにも興味を持ってもらえるよう、資料は毎回飽きの来ない工夫がなされています。

—— 法人全体・各施設の決算内容を報告

今年のテーマは、「決算から見えてくる未来～成長のための構造改革と基盤整備～」とし、1年間の業績の結果を大城

理事長より分かりやすく解説いただきました。

まずは第24期（平成29年4月～平成30年3月）の決算報告として、各施別の総収益増減、経常利益増減を報告。総括として「時計台グループの減収と減価償却の増加により経常利益は減となったが、その他の事業は順調に推移し、平成29年度（第24期）の決算は増収増益であった。」と報告がありました。

—— 今後の事業展開について

続いて、決算からどのような未来を描くべきか今後の事業展開について語られました。

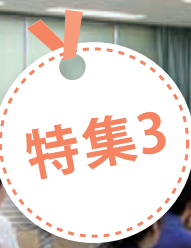
当法人は社会医療法人に認められている事業として、すでに医療・福祉、不動産業、教育・学習支援業を行っていますが、新たにホテル業に参入し、今年12月に洞爺湖畔に「ホテルプレミアム・レイクトーヤ」（全室源泉かけ流し露天風呂付）をオープンすることが発表されました。

「ホテル プレミアム・レイクトーヤ」は一般のホテル事業や職員の保養所としての役割の他に、同グループの介護老人保健施設けあ・ばんけいや地域包括ケア拠点施設カレス プレミアムガーデンに入居されている方たちへのサービスの活用も考えています。

カレス サッポロの明るい未来のために社会医療法人のメリットを生かしながら構造改革と基盤整備を行い、全職員が一丸となって課題に取り組む必要があると認識した日となりました。



数字だけではなく、イラストや図を多用したわかりやすい解説が好評



第85回 法人全体研修会

テーマ「もっと知りたい(!?)看護部という集団 質の向上編」

講師：時計台記念病院 看護部長 根元文栄

7月11日・12日に開催した法人全体研修会では、看護部第2弾として「質の向上編」を時計台記念病院の根元文栄看護部長よりご講演いただきました。

はじめに

ドラッカーの有名な言葉の一つに「事業の目的は顧客の創造である」という言葉があります。病院はいかにして地域住民から選ばれるか、あるいは他の医療機関や医師から紹介してもらえるのがとても重要になってきます。

そのためには「医療の質」向上への取り組みが必要不可欠であり、質を保証することなしには、顧客から信頼を得ることができません。看護も医療の一部ですので、多職種と協働し、チームでサービスを提供することが必要です。

経営に関わる4つの指標

医療経営とは医療の理念を実現するために、人材、物資、資金、情報などを組織化し、それらを継続的に運営・発展させようとする活動である、というのが一般的な医療経営とされています。それでは看護はどのように貢献して関わっていくのか、以下の経営に関する4つの評価指標をもとに説明したいと思います。

1. 生産性について

看護でいう生産性とは①患者のケア管理②患者の満足度を上げる③臨床結果を向上(クリニカルインディケーター)④効率化⑤看護師の満足度を高める⑥他職種の関係性を良好な形にするなどが挙げられます。これらはチーム医療としても必要な事であり、生産性を高めるということでは必要不可欠だと思います。

クリニカルインディケーターについては現在、入院支援室にて医事課、医療情報課、看護部が中心となり、どのような臨床指標にするか運用を検討しています。また、その指標にDinQL*を加え医療の質向上への方策についても組織的に取り組む予定です。

* 日本看護協会が2012年度から取り組みを開始した事業。看護職が健康で安心して働き続けられる環境整備と看護の質向上を目指すもの。

2. 収益性について

収益性では、組織の活動によって新たに生み出された価値(付加価値)として、当院のリソースナースを中心とした委員会にて、広く地域に向けて訪問活動を行う体制づくりを開始しました。主な活動内容は、当院に入院されている患者さまの「退院前」や「退院後」の同行訪問などです。

今後は、当院を利用される患者さまはもちろん、その他在宅でリソースナースを必要としている方々のために、札幌市内を対象に広く訪問できる体制の構築ができればと考えています。この取り組みが当院の看護部としての“付加価値”となって地域へ貢献できる活動になるのではないかと考えています。

3. 安全性について

安全性での看護の貢献については、ケアの標準化での貢献、看護基準や手順、クリニカルパスなどが当てはまっていますが、こちらは看護部の委員会がありますので、そこで常

に改訂や見直しを行うなどより質のいいものにしています。

4. 成長性について

病院経営の場合は、「国の医療政策の枠組みの中で、患者サービスの質で勝負する」とありますが、看護部における成長は入院期間の短縮、専門看護によるサービスの質の向上、ベッドコントロールによるベッド稼働率の向上などが考えられます。

看護とは必ずしもすべてを定量的に表現できるものではなく、定性的な評価も大切です。これが抜けてはしっかりした看護の質向上にはならないと考えています。定量的なデータの裏にある状況を定性的な側面からもしっかりと踏まえた上で、看護の質向上や、改善を行う必要があります。

—— クリニカルラダーについて

ラダーは自己のキャリアを自分で設計して力を習得する必要があるので、教育にラダーを活用するのがとても有効だと考えられています。また、継続教育は看護の専門職業人としての役割遂行能力を高め、看護ケアの質的向上を図ることが目的と言われており、継続教育をしっかりすることが倫理綱領にも掲載されています。

人は仕事を通じて成長するものです。基礎教育で看護の学習をただけでは看護の専門職とはなり得ません。社会生活や日常業務を通じて、人間として、看護の専門職業人として成長するものです。

日本看護協会では2025年に向け、全国的に共通したラダーを活用していく動きが出てきています。なぜなら看護師は多様な場で働くことが求められ、多職種と協働する場面が増えてきているためです。ですのでこれからは施設ごとに異なる教育から、地域単位の人材育成へシフトし、どこにいても同じように個人の看護提供能力が分かるようになっていきます。

当院の看護部教育委員会では、管理・監督者が中心となり、クリニカルラダー(JNA ラダー)を元に自分たちが教育に関

わる中でどんな看護師になりたいのか、どういう看護師と一緒に働きたいのか、どんな看護師を育てたいのかを議論し、5つの要素にまとめました。それをモチーフ化したのが下記の図です。



看護師に必要な力を「5つの要素」

この星型のモチーフには、自律的に成長し、やがて「標」となって輝いて欲しいという願いが込められています。また、研修スケジュールには5つの要素が色分けされており、受講者にわかるようになっています。

今年はチャレンジの年とし、実践しながら様々な評価を行い、スタッフからの意見を聞きながら精度を上げていきたいと考えています。

当院にはとても魅力ある看護管理者が多くいます。今年でもさらにみんなを引っ張っていける看護管理者のチームに成長し、そして“できるナース”を引き付けて離さない魅力ある看護部にしていきたいと思っています。

—— おわりに

医療の基本はやはり「信頼」です。より一層信頼を得られるよう知識や技術、そして人間性を磨いていかなければいけないと思っています。

看護は一人ではできません。常に患者さまにとっての最善を一人ひとりが考え、それを医療者全員がチームとなって行うことが出来れば、素晴らしい医療や素晴らしい看護が出来ると考えています。

<参考文献>
*1 坂本すが、今、看護管理は病院経営にどう関わるのか、一般社団法人日本病院会、2006.07,
http://www.hospital.or.jp/pdf/06_20060713_01.pdf

時計台記念病院

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433

ホームページ <http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

【診療科目】 内科・循環器内科・形成外科・眼科・婦人科・リハビリテーション科・消化器内科
外科・脳神経外科・緩和ケア内科・放射線科・麻酔科・血管外科・泌尿器科



本年4月に3年に一度の介護報酬改定が行われ、介護老人保健施設はより一層在宅復帰と在宅生活支援の機能強化が求められるものとなりました。当施設では、在宅生活支援として通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、ショートステイの3種類の在宅サービスを提供しておりますが、今回は、その中でも近年特に需要が高まっているショートステイについてご紹介させていただきます。

—— ショートステイとは

ショートステイは、簡単に言うと『数日間施設にお泊りし、日常生活全般の介護を受けることができるサービス』です。

普段介護しているご家族さまが冠婚葬祭や出張等で一時的に家を空ける場合や、体調不良や入院等で一時的に介護ができないなど、ご利用の目的は様々ですが、その大半は介護者の負担軽減を図るためものです。介護者の都合という要素が大きいため、ご利用者さま本人にとっては不本意な場合もありますが、ご利用者さまが住み慣れた自宅で一日でも長く生活を継続するためには欠かせないサービスであるといえます。



▲ 居室



▲ リハビリの様子



—— ショートステイには 2種類あるのをご存知でしょうか

ショートステイは大きく分類すると、福祉系サービスと呼ばれる『短期入所生活介護』と医療系サービスと呼ばれる『短期入所療養介護』に分けられます。

短期入所生活介護は、特別養護老人ホームや有料老人ホーム等が提供しているサービスで、食事、入浴、排せつといった生活介護が受けられます。一方で当施設が提供している短期入所療養介護は、介護老人保健施設や介護病床をもつ医療機関が提供しているサービスで、生活介護に加え医療・看護・リハビリテーションを提供する機能も持ち合わせているため、より多様なニーズへの対応が可能なサービスと言えます。

当施設では、ご利用者さまのニーズに合わせてショートステイご利用中も自宅に帰られた後も安心して生活ができるように支援させていただきます。

介護老人保健施設 けあ・ばんけい

TEL (011)615-9623
<http://www.carebankei.jp/>

〒064-0945 札幌市中央区盤渓232-7

事業内容

介護老人保健施設・短期入所療養介護
通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション

相談受付

月曜～金曜日 8:30～17:00

NOTICE

介護職員初任者研修 ケアカレス 第5期開講について

ー平成30年11月開講予定(夜間)

介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)は介護の仕事に就くための初めの一步となる資格です。

当法人が運営する「ケアカレス」の特徴は、①講師は現場で活躍している実践者②カリキュラムにシミュレーションセンターを利用した「実習」が行える③修了後1年間は知識や技術のブラッシュアップができることです。

これから介護・福祉の仕事をしてみたい方、自宅での介護に役立てたい方、初任者研修をスタートラインとして介護現場でのキャリアを積みたい方、介護について学んでみませんか？

第5期 研修期間

平成30年11月9日(金)～平成31年3月8日(金) 予定
【曜日】月・水・金曜日(週3日) 【時間】18:00～21:15

定員
15名



介護職員初任者研修 ケア カレス

お気軽にお問い合わせください！

 **011-218-3337**

受付時間 8:30～17:00(平日のみ) <http://www.caress-sapporo.jp/carecaress/>

EVENT

AHA 北海道 BLSケアプロバイダーコースを開催 ークリニカル シミュレーションセンター

カレスサッポロ クリニカル シミュレーションセンター(カレスサッポロビル7階)において、7月よりAHA北海道主催によるBLSプロバイダーコースを開始しました。

当センターには模擬病室があるため、より実践に近い環境でトレーニングを受けることができます。詳しい受講につきましてはAHA北海道のホームページをご覧ください。



模擬病室



研修室(ブリーフィングルーム)

シミュレーションセンター開催スケジュール

開催日	時 間
第1回 7月26日(木)	10:00～16:00 終了
第2回 8月22日(水)	12:00～18:00 終了
第3回 9月20日(木)	10:00～16:00
第4回 10月25日(木)	12:00～18:00
第5回 11月15日(木)	10:00～16:00
第6回 12月20日(木)	未 定
第7回 1月23日(水)	未 定
第8回 2月28日(木)	未 定
第9回 3月28日(木)	未 定

お問い合わせ窓口

AHA 北海道 <https://ahahokkaido.com/>

募集は1カ月前の昼12時開始で、先着順です。変更の可能性がありますのでホームページよりご確認の上お申し込みください。

Nurse* Nurse



子供たちの参観日

～子供向けの職業体験を実施しました～

7月30日、2回目となる子供向けの職業体験を開催しました。この企画は看護部が中心となり、職員の子供たちを病院に招いて「医療の職業体験を通して、医療職に対する興味を持つことができるとともに、親の仕事を理解してもらうこと」を目的に実施しました。

今年度は、看護師のほか放射線技師の子供たち合わせて小学3年生から中学2年生までの男女6名が参加しました。

当日は、お父さん・お母さんとともに出勤し、午前中は、看護衣の歴史について講義を聴き、手洗いの実践方法を学んだ後、お父さん・お母さんの働いている様子を参観しました。昼食は患者さまに実際に提供している病院食を食べ、患者さまの気持ちを体感してもらいました。

午後はクリニカルシミュレーションセンターへ移動し、



BLSトレーニング、高機能シミュレーターを使用した心音・肺音聴取、瞳孔や脈拍の確認、傷の消毒&包帯固定などを体験。その後、病院へ戻り今日体験したことをお父さん・お母さんへフィードバックしました。

「お母さんの働く姿をみて、やっぱり看護師になりたい。」「お父さんかっこよかった。」など、普段とは違う姿を見ることが、親の仕事への理解を深めることができたのではないのでしょうか。

また、この企画は昨年に続き夏休み開催ということもあり、さっそく自宅に戻り自由研究にすると子供たちの声も聞かれていました。

子供たちのお父さん・お母さんを見つめる目、それに答える職員の笑顔。そんな姿を見ることができた1日となりました。

北光記念病院 看護部

WEB <http://www.hokko.or.jp/nurse/>



北光記念病院

時計台記念病院

EVENT

緩和ケア病棟で 夏祭りを開催！



時計台記念病院の緩和ケア病棟では、入院患者さまやご家族の皆さまに季節を感じ、楽しいひと時を過ごしていただければと思い、毎年「夏祭り」を開催しています。

今年は7月20日に夏祭りを開催しました。スタッフ手作りの提灯などで病棟を飾り付け、ヨーヨー釣り・かき氷・たこ焼き・スイカ割り・管理栄養士手作りのサイダーゼリーを準備し、楽しいひと時を過ごしました。

高橋先生が焼きたこ焼きは大人気で、焼けるのを今か今かと待ちわびている患者さまもいました。スイカ割りでは目隠しをした鈴木先生が、右に左に動くたびに歓声が上がり、大きな笑い声と拍手に包まれました。その後、患者さまもスイカ割りを楽しみ、スイカの上の紙風船にバッドがヒットすると大きな歓声が上がりました。最後はみなさんでスイカを食べ、味覚を通して夏を感じ、今年も大盛況の夏祭りとなりました。

当緩和ケア病棟は「自宅で過ごしているような自由で穏やかな空間の実現」を理念に、日々その方らしく過ごせるようサポートをしています。季節を感じられるイベントは、患者さま・ご家族にとっても好評で、私たちスタッフも皆さまのたくさん笑顔に元気をもらっています。これからも患者さま・ご家族の大切な時間を少しでも笑顔あふれる日々にするようお手伝いしていきたいと思ひます。



時計台記念病院 看護部

WEB <http://www.tokeidaihosp.or.jp/ov-hp/department/nurse/>



COLUMN

第1弾



「介護」というやりがいのある仕事を 発信していきたい

時計台記念病院 アネックス5階病棟 白鳥 志野

みなさんがイメージする介護福祉士の仕事とは、排泄・移動・食事・シーツ交換や入浴などを思い浮かべると思ひます。実際は、そうなんです。そのようなことをしています。ですが、私たち時計台記念病院の回復期リハビリテーション病棟に勤務する介護福祉士は、ひとつの介助に目的や個性を持っています。例えば、『また家族と一緒に暮らしたい』というご本人とご家族の思いがあり、その目標の実現に向けてトイレに行く練習や歩行の訓練を多職種と連携して行っています。

残念ながら、介護の仕事は今はまだ「専門性が低い」「誰にでもできる仕事」・・・そんな風に思われがちです。ですが、諦めずにその道を究めて進んでいくことで、周囲に「介護」に対するイメージを変えていけると思っています。

私自身、自信を持って専門性を語ることはできません。ですが、この仕事が好きだと自信を持っていますし、大切な仲間と毎日楽しく働いています。「介護」はやりがいのある仕事だと発信できる人になっていきたいです。



新人教育研修の紹介

夜間入院を体験して

北光記念病院 4病棟 横山 卓月

夜間入院を体験して、一番気になったのは音でした。モニター音やナースコール、ドアの開閉音、足音、看護師の話声など日中ではあまり気にならない音でも大きく聞こえ、入眠するまでに時間がかかりました。このような日々が続くとストレスとなり、寝不足で体調不良につながる可能性あると気が付きました。

今後、モニター音には素早く対応し、物音や話声を小さくすることを心掛ける必

要があると感じました。

また、ナースコールについては、点滴終了やトイレの声掛けを時間で行うなど前もって予測し患者さまの対応をすることで、ナースコールの回数を減少することができ、他の患者さまへ迷惑をかけずに終わることが出来ます。そのために、患者さまのスケジュール管理や安静度の把握、点滴時間などを知っておくことが大切であると思ひました。



複数検温を体験して

北光記念病院 OCI 栗橋 空良

複数検温の研修を通して、優先順位を考へて行動することの大切さを改めて実感することができました。患者さまの検温をする順番やバイタルサイン以外に、何を観察すべきなのかということグループでディスカッションしながら答えを導くことができました。また、なぜその観察が必要なのかという根拠についても考えることができました。

今回の研修で得た学びを活かして、今後は優先順位を考へ時間に余裕を持って行動できるようにしたいと思ひます。そして、ケアだけでなく観察項目に対しての根拠も大切にしていきたいです。



吸引・尿道カテーテル挿入を体験して

時計台記念病院 アネックス4階病棟 山本南穂

今回の研修を通し、吸引により口腔内の清潔を保持されることや肺炎が予防されることを学びました。実際にシミュレーターを使用してシミュレーションをすることで、一連の流れがわかり、声のかけ方などイメージしながら行うことができました。また、尿道カテーテル挿入は清潔と不潔をしっかりと区別しなければ感染する危険性が高くなってしまうことを学びました。

TOPICS

リハビリテーション部 新入職員を対象に KYT 研修会を実施 – 時計台記念病院

7月18日、クリニカル シュミレーションセンターにて時計台記念病院リハビリテーション部の新入職員を対象にKYT研修会を開催致しました。KYTとは「危険予知トレーニング」の略称です。

今回は先輩職員が模擬患者となり、受講者は介入する中で危険な場面や体調変化時の対処法など多様な場面を想定し、実践しました。模擬患者となった職員、それに対応する受講者が共に真剣

に取り組み、実りの多い研修となりました。当院は様々なご病気をお持ちの患者さまがリハビリを受療されており、介入させて頂く私達も様々な事態に対応するスキルが求められます。この研修を通して「この様なリスクがあるかもしれない」という視点を持つ事で、リハビリ介入時の事故発生率の低減が期待できると考えます。

今後のこの様な活動を通じ、患者さま

の安全を担保しつつ、より良いリハビリが提供できるよう貢献したいと考えています。



模擬患者を相手に実践的な研修を行いました

時計台記念病院 ホームページ：<http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

心臓血管外科主催のウェットラボを実施しました – 北光記念病院

7月9日に北光記念病院のファンクションルームにて心臓血管外科 宮武司部長の主催でウェットラボを実施し



豚の心臓を解剖

ました。ウェットラボとは動物の臓器（今回は豚の心臓）を用いて手術手技などを勉強するものです。

今回は、手術チームスタッフだけではなく、心臓手術周術期に関わるスタッフ（看護師、検査技師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士など）が実際の手術手技を体験するとともに、心臓の解剖を勉強するために開催しました。

豚の心臓の解剖はもちろん、直接弁

や血管などに触れ、その弾力性や大きさを実感することができました。

また、実際に手術器具と人工弁を使用して大動脈弁置換術を体験することにより手術の困難さと楽しさ？を知ることができました。

今回のウェットラボを思い出しながら教科書などで更に勉強し、手術について理解を深め、今後に生かしたいと思います。

北光記念病院 ホームページ：<http://www.hokko.or.jp/>

ばんけい夏祭りを開催しました – 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

7月14日、けあ・ばんけいの施設1階ホールと正面駐車場を会場に「ばんけい夏祭り」を開催いたしました。この夏祭りは、けあ・ばんけいのビックイベントの1つで、楽しみにされている方が大勢いらっしゃいます。

お祭り当日は、職員による手作り大型ピンボールなどのゲームコーナーで、景品を手に大喜びされている利用者さまの姿が見られました。

また、ステージでは「さぁさみんなでどっこいしょ」のよさこいチームの演舞に合わせて、掛け声や手拍子を打ち



大人気のゲームコーナー

ながら楽しめる利用者さまもいました。今年も大いに盛り上がり、無事に夏祭りを終えることが出来ました。



よさこいチームの演舞

介護老人保健施設 けあ・ばんけい ホームページ：<http://www.carebankei.jp/>

第6回 日本糖尿病療養指導学術集会に参加して – 北光記念病院

北光記念病院
栄養科 課長 田村 美香

7月28日から29日の2日間、京都にある国立京都国際会館を会場に「第6回日本糖尿病療養指導学術集会」が開催され、当院の日本糖尿病療養指導士の看護師と一緒に参加いたしました。

事前にこの会について「グループワークが活発な会で他の学会にはないよさがある」と聞いており、期待して参加しました。また、今回初参加でしたが、学術集会参加を申し込んだ際に、早

速「スモールグループディスカッション（腎症重症化予防）」のファシリテーターの依頼があり、担当させて頂きました。

当日は「フリースタイルリブレ®」を体験した医療スタッフ向けアンケート結果をテーマに、リブレ®導入にあたり職員が試用したアンケート調査の結果を報告いたしました。

その他、糖尿病や腎症進行抑制に関

してそれぞれの施設での取り組みや研究されている先生方の話を聞くことができ、大変参考になりました。

今後の業務に活かしていきたいと考えています。

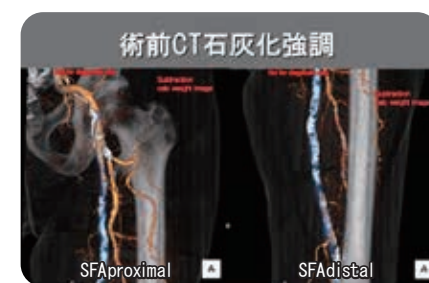


北光記念病院 ホームページ：<http://www.hokko.or.jp/>

TOPIC2018の学会に参加して – 時計台記念病院 (Tokyo Percutaneous Cardiovascular Intervention Conference)

時計台記念病院
放射線科 主任 岡 尚求

7月12～14日、セルリアンタワー東急ホテルで開催されたTOPIC2018に参加し、『高度石灰化左浅大腿動脈慢性完全閉塞術前造影CTにて閉塞部と石灰化の質



的情報に加え大腿骨や皮膚との解剖学的情報も併せて3D表示させる事で血管内治療に活用した1症例』という演題でコメディカルケースセッション発表を行いました。

発表内容は、高度石灰化左浅大腿動脈慢性完全閉塞に対する血管内治療に対して、下肢動脈造影CTルーチンではVR、CPR像による3Dを表示し、サブトラクション処理によるVR、CPR像を行いました。それらに加えて病変の閉塞部、石灰

化、大腿骨、皮膚をそれぞれ作成、色付け、透過度による重みづけを行い、重ね合わせて石灰化を強調した3D表示することで、血管内治療のロードマップとして活用する、という内容でした。

発表後、治療支援画像作成担当はどのような体制で行われているか質問がありました。そのほか、PCIやPTAのLive Demonstrationを拝見し、貴重な症例を多数疑似経験することができ、今回の学会参加で得られた収穫だと感じています。

時計台記念病院 ホームページ：<http://www.tokeidaihosp.or.jp/>

アンガーマネジメント研修を実施 – 地域包括ケア拠点施設 カレス プレミアムガーデン

カレス プレミアムガーデンでは、毎月職員を対象にした勉強会を開催しています。

7月24日は「怒り」の感情をコントロールする、アンガーマネジメント研修を実施しました。

怒りは「こうあるべき」という「自分の価値観」と現状が大きくズレた時に

生じます。そのような状況になった場合は、相手の気持ちや立場を配慮した発言をすることが大切で、そうすることで自分の気持ちも前向きに建設的な感情に変えられるということでした。

「怒り」の感情もうまく付き合えばやる気や活力になる事を学び、参加者からは「年に1回は振り返る機会があ

るといい」との声も聞かれるよい研修となりました。



勉強会の様子

地域包括ケア拠点施設 カレスプレミアムガーデン ホームページ：<http://www.p-garden.jp/>

【基本理念】

原点から考えなおす保健・医療・福祉

～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～

社会医療法人社団 カレス サッポロ 関連施設のご案内

■ 法人本部

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
カレスサッポロビル8階

TEL 011-207-1331 FAX 011-207-2332

■ 北光記念病院

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番6号

TEL 011-722-1133 FAX 011-722-0501

【診療科目】

内科・循環器内科・心臓血管外科・消化器内科・放射線科

■ 北光記念クリニック

〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番15号

TEL 011-722-1122 FAX 011-722-1212

【診療科目】

内科・循環器内科・放射線科・脳神経外科

■ 時計台記念病院

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-1221 FAX 011-231-5433

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・外科・脳神経外科・形成外科
婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科
泌尿器科

□通所リハビリテーション

■ 時計台記念クリニック

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番3号

TEL 011-251-2221 FAX 011-251-2881

【診療科目】

内科・循環器内科・消化器内科・外科・糖尿病内科・腎臓内科
脳神経外科・形成外科・リウマチ科・婦人科・眼科・放射線科

■ 介護老人保健施設 けあ・ばんけい

〒064-0945 札幌市中央区盤渓232-7

TEL 011-615-9623 FAX 011-615-2335

□介護老人保健施設

□短期入所療養介護

□通所リハビリテーション

□訪問リハビリテーション

■ クリニカルシミュレーションセンター

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
カレスサッポロビル7階

TEL 011-218-3337 FAX 011-218-3338

■ 札幌市中央区介護予防センター北一条

〒060-0031 札幌市中央区北1条東1丁目2番5号
カレスサッポロビル8階

TEL 011-251-1340 FAX 011-231-5433

地域包括ケア拠点施設

カレス プレミアムガーデン

〒065-0012 札幌市東区北12条東4丁目1番1号

■ よつば家庭医療クリニック

TEL 011-722-7700 FAX 011-722-7733

【診療科目】

内科（総合診療）・小児科・緩和ケア内科

訪問診療も行っております

□通所リハビリテーション

□訪問リハビリテーション

□住宅型有料老人ホーム

カレスプレミアムガーデン

TEL 011-722-3330 FAX 011-722-2233

□居宅介護支援事業所 カレス介護相談センター

TEL 011-722-3335 FAX 011-722-2233

□カレス訪問看護ステーション

TEL 011-722-2522 FAX 011-722-2233

□カレスヘルパーステーション

TEL 011-722-2511 FAX 011-722-2233

□カレスデイサービスセンター

TEL 011-722-3337 FAX 011-722-2233

□カレス定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所

TEL 011-722-3336 FAX 011-722-2233

カレス サッポロ

検索

<http://www.caress-sapporo.jp/>